

令和4年度 第75回宗像地区中学校サッカー大会の開催にあたっての 感染拡大予防ガイドライン

令和4年 6月1日
宗像地区中学校体育連盟
サッカー競技 専門部

大会開催における感染予防策について

(1) 大会参加者への事前対応

感染拡大防止のために、以下の事項を遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがありうる。

① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること

ア 体調がよくない場合。(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

② マスクを持参すること。(競技中以外、控場所での着替えや会話をする際はマスクを着用する)

③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

④ 他の参加者、大会関係者等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。

⑤ 大会中に大きな声で会話、応援等しないこと。

⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守し、主催者の指示に従うこと。

⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(2) 大会参加者への対応

① 体調の確認

各校の登録生徒及び監督・引率者等は、2週間分の体調を記録した体調記録表(別紙1)を提出をし、健康管理を徹底するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう場内アナウンス等で確認を促す。

② マスク等の準備(屋外で十分な距離が確保できる場合は除く)

参加者がマスクを準備しているか各チームで確認する。なお、競技中のマスクの着用は参加者等の判断によるもの(※)とするものの、競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクの着用を求める。

(※) マスク(特に外気を取り込みにくいN95などのマスク)を着用して競技を行った場合、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることに留意するとともに、適宜周知するよう配慮すること。

③ 大会参加前後の留意事項

大会に参加する個人や団体は、大会前後のミーティング等においても、3密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮する。

(3) 保護者(観客)の管理(観戦ありの場合)

① 保護者(観客)同士が密な状態にならないようにすること。

② 大声での声援や会話を控えること。

③ 会話をする際にはマスクを着用すること。

④ 保護者にも来場前に自宅で検温を行うように協力を依頼する。

- ⑤ 保護者（観客）の観戦は、一定の間隔を確保し、会話をする際にはマスクの着用をお願いする。
- ⑥ こまめな消毒をお願いする。
- ⑦ 生徒への接触を極力控えるようにお願いする。
- ⑧ ゴミは各自で持ち帰ること。

(4) 競技会場及び競技上の留意事項

基本的な感染対策

- ① 競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスクの着用の推奨）などの基本的な感染症対策を徹底するよう指導する。会場でのアルコール消毒薬や石鹸等の準備は施設管理者と協力して設置する。
- ② 競技中の水分補給に関しては、スクイズボトルなどのチーム共用を避け、個人のものを使用する。
- ③ 人が集まる場所（待機場所）では、身体的距離を2メートル程度保ち待機させる。
- ④ 共有物の適正な管理又は消毒を徹底する。
- ⑤ 試合前後の挨拶は、間隔を空けて行わせる。
- ⑥ ベンチの間隔は広く確保し、マスクを必ず着用させる。
- ⑦ 円陣は接触して行わないように指導する。
- ⑧ ピッチアウトの時は、消毒を行う。
- ⑨ ベンチ外の選手は、応援席で間隔を空けて観戦させる。大きな声での応援は行わない。
- ⑩ 顧問や指導者はマスクを着用していない状態での指導やミーティングを禁止する。ただし、テクニカルエリアで指示を送る際は、マスクを外してもよい。

(5) 健康観察の実施

大会に参加するすべての者（選手、監督、引率者、大会役員、補助員等）検温を実施。

- ① 特に選手は、監督、引率者が責任をもって検温結果を確認すること。
- ② 監督、引率者は、試合前に選手の健康状況（含む検温状況）を確認し、体調不良の選手については保護者及び学校管理職に連絡の上参加させないようにする。選手の健康状況については、監督、引率者から各地区専門委員に報告し、専門部長は大会運営に支障がある場合にはその結果を担当理事に報告する。

(6) 開会式・閉会式について

開・閉会式は実施しない。

(7) その他

- ① 自家用車や貸し切りバスで移動する場合は、検温・消毒・マスクの着用を徹底する。
- ② 公共交通機関を使用する場合は、マスクの着用と消毒を徹底するように指導する。
- ③ 当日の朝、必ず健康確認のため検温を行うように指導する。（体調不良の場合は、引率を控える。）体調チェックシートを記入し、各顧問で把握しておく。
- ④ 感染症拡大防止対策のポスターを掲示し、来場者への協力をお願いする。